

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHP などでご確認下さい。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

実力養成基礎研修コース

—やさしいプロセス設計 [蒸留装置]—

主 催 分離技術会

協 賛 日本化学会

会 期 8月26日(水)、27日(木)

開催方式 対面式

会 場 日本大学理工学部駿河台校舎 1号館
3階 132教室 (千代田区神田駿河台 1-8-14)
[交通] JR中央・総武線「御茶ノ水」駅下車
徒歩3分/東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」
駅下車徒歩3分/東京メトロ丸の内線「御茶ノ
水」駅下車徒歩5分

参加申込締切 8月18日(火)

分離技術会では、実力養成基礎研修コース
として、企業に入って間もない方で、かつ今
後、体系的に化学工学を学びたいと望んでい
る若いエンジニアを対象として、ベテランの
講師陣を迎え基礎から応用までの講義と演習
を行っております。なお、受講者には単位操
作ごとに修了証を贈呈します。今回は、蒸留
装置を題材とした『プロセス設計入門編』と
して下記の日程で行います。好評な講座です
ので、皆様方の参加を希望いたします。なお、
本コースでは講義の中で計算問題を解いてい
ただきますので、関数電卓(パソコンも可)
を各自ご持参下さい。

※詳細はHP ([https://www.sspej.gr.jp/events/
events/20260826.html](https://www.sspej.gr.jp/events/events/20260826.html)) をご参照下さい。

参加費 正会員・維持・特別会員・協賛団体
会員 36,300円、会員外 48,400円、学生
11,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 214-0034 川崎市多摩区三田
分離技術会事務局 電話(044)874-0337
FAX(044)874-0338 E-mail: [jimu@sspej.
gr.jp](mailto:jimu@sspej.gr.jp) <https://www.sspej.gr.jp/>

第363回 化学への招待

主 催 日本化学会東北支部

会 期 8月29日(土)10時~14時

開催方式 対面式

会 場 イオンいわき店 1階 (いわき市平字
三倉 68-1) [交通] JR常磐線「いわき」駅徒
歩 10分

参加申込締切 事前申込不要、当日会場にて
受付

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 福島工業高等専門学校 森
崇理 電話(0246)46-0823 E-mail: [mori-t@
fukushima-nct.ac.jp](mailto:mori-t@fukushima-nct.ac.jp)

化学系業界紹介イベント

—研究を社会につなぐ企業戦略—

主 催 日本化学会近畿支部

会 期 9月4日(金)13時~16時5分

開催方式 オンライン

参加申込締切 8月28日(金)

本イベントは、化学系の学部生・大学院
生・高専生ならびにその保護者の皆様を対象
としたオンライン講演会です。「企業はどの
ように研究を育て、社会実装まで導くのか」

を主題とし、「研究テーマ」そのものではなく、
“研究を生む仕組み”と“研究を育てる組
織力”に焦点を当てる新しい化学系業界紹介
のイベントです。従来のロールモデル型(研
究者個人が研究内容やキャリアを語る形式)
とは異なり、本イベントでは、企業という“研
究組織”が持つ研究力の全体像についてお話
しいただきます。

1. 開会挨拶 (京大化研) 山田容子近畿支部
支部長
2. 趣旨説明 (関西大化学生命工) 梅田 聖
近畿支部研究最前線 WG WG 長
3. 共存共栄 ~世に役立つアイテムを生み出
すには? (共栄社化学) 岡本直樹
4. 人と社会に豊かさや快適さをこれからも(日
本触媒) 齊藤 周
5. “人”から始まる創業 —SHIONOGI 研
究所の人材戦略と試行錯誤 (塩野義製薬) 高橋
知佳

6. 世界に繋がる舞台で自己実現を目指しま
せんか! (東レ) 後藤一起
7. 総括と閉会挨拶 (京大院工) 木村 祐近
畿支部研究最前線 WG 副 WG 長

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 550-0004 大阪市西区靱本
町 1-8-4 大阪科学技術センター 6階 日本化
学会近畿支部 電話(06)6441-5531 E-mail:
csjevent@kinki.chemistry.or.jp [https://
csjinki.com/career-design/](https://csjinki.com/career-design/)

レアメタル研究会 (122 回)

—若手研究者が金属プロセス工学の
未来を熱く語る—

主 催 レアメタル研究会

協 賛 日本化学会

会 期 9月11日(金)14時~

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 東京大学山上会館リアル講演会+講
演のネット配信 (Zoom Webinar & YouTube)
のハイブリッド研究会 (文京区本郷 7-3-1)
[交通] 東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江
戸線「本郷三丁目」駅から徒歩で約 15 分

参加申込締切 9月4日(金)

講 演 (敬称略) ※プログラムの順番等は変
更する可能性があります。

1. 素材プロセス研究に込める夢と挑戦 (仮)
(東北大多元物質科学研) 上村 源
2. 鉄鋼・アルミニウムを通して学んだ材料
プロセス研究 —これまでとこれから (仮) (富
山大都市デザイン学) 加藤謙吾
3. Foundry (ファンドリー) 研究の過去、現
在、未来 (東大生産技術研究) 鳴海大翔

参加費 大学・省庁・メディアの関係者は無
料、企業関係者は初回のみ無料

研究交流会・意見交換会 18時より東京大
学山上会館談話ホール (1F) にて開催予定。

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 153-8505 目黒区駒場 4-6-
1 Fw-301 岡部徹研究室 室 寄 電話 (03)
5452-6314 FAX (03) 5452-6313 E-mail:
okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp

半導体の未来に関する
シンポジウム

主 催 東京大学生産技術研究所非鉄金属資
源循環工学寄附研究部門 (JX 金属寄附ユニッ
ト)

協 賛 日本化学会

会 期 9月25日(金)14時~

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 東京大学生産技術研究所 An 棟 2F
コンベンションホールおよび Zoom Webinar
& YouTube (目黒区駒場 4-6-1 東京大学生
産技術研究所 An 棟 2F コンベンションホール)
[交通] 京王井の頭線「駒場東大前」駅、小田
急線「東北沢」駅・「代々木上原」駅より徒歩
10 分

参加申込締切 9月18日(金)

テーマ 半導体の未来

1. 先端半導体技術の動向: 過去、現在と将
来展望 (東大院工附属システムデザイン研究
セ (d.lab)・東大名誉) 平本俊郎
2. 半導体用、超高純度レアメタルについて
(仮) (東大生産技術研) 岡部 徹
3. 半導体用ターゲット材の開発について
(仮) (JX 金属) 岡部岳夫
4. 半導体素子微細化と、AI 時代にも延命し
続ける銅配線技術 (筑波大物理・トクヤマ)
野上 毅

参加費 無料

研究交流会・意見交換会 18時より東京大
学生産技術研究所にて開催予定 (要参加登
録)。

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 153-8505 目黒区駒場 4-6-
1 Fw-301 岡部徹研究室 池田 電話 (03)
5452-6314 FAX (03) 5452-6313 E-mail:
t-ikeda@iis.u-tokyo.ac.jp

第31回 化学教育サロン
企業と連携した化学教育

主 催 日本化学会近畿支部化学教育協議会
会 期 10月3日(土)13時30分~16時30
分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 大阪教育大学「天王寺」キャンパス
(大阪市天王寺区南河堀町 4-88) [交通] JR
「天王寺」駅、大阪メトロ「天王寺」駅、近鉄
「阿部野橋」駅下車徒歩 10 分

参加申込締切 9月25日(金)

本会は小学校、中学校、高等学校、大学等
の化学・理科教育に携わっていらっしゃる先
生方や企業の方、これからの教育を担う学生
の交流を目的とし、毎年開催しているもので
す。今回は、学校向け出前授業を展開してい
る企業の方をお招きし、具体的にどのような
取り組みをされているのかを紹介していただ
きます。最後には、探究活動の推進に向けて
どのような連携が求められるのか、自由討議
で議論を深めていきます。化学に限らず理科
教育に興味をお持ちの方ならどなたでもご参
加を歓迎します。

参加費 1,000円 (学生は無料)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 550-0004 大阪市西区靱本
町 1-8-4 日本化学会近畿支部 電話 (06)

6441-5531 FAX (06) 6443-6685 E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp <https://kinki.chemistry.or.jp/salon.html> に記載の方法にてお申し込みをお願いします。

第31回実践化学工学講座

主催 化学工学会関西支部
協賛 日本化学会近畿支部
会期 10月6日(火)～12月17日(木)
開催方式 対面式
会場 大阪科学技術センター (10月21日(水)は、関西化学機械製作(株)) (大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅25番、28番出口を北へ徒歩約5分 うつば公園北詰
参加申込締切 9月18日(金)
10月6日(火) 化学工学の基礎(阪大院基礎工) 馬越 大、(神戸大先端膜研究セ) 松山秀人
10月15日(木) 反応工学(京大院工) 河瀬元明、(早稲田大/元日本触媒) 常木英昭
10月21日(水) 蒸留(京大院工) 外輪健一郎、(関西化学機械) 野田秀夫
11月2日(月) 晶析(新潟大工) 三上貴司、(カツラギ工業) 對馬一平
11月9日(月) 吸着(長崎大院工) 瓜田幸幾、(エア・ウォーター) 金子雅之
11月12日(木) 吸収(関西大環境都市) 田中俊輔、(東亜合成) 鈴木日和
11月19日(木) 粉粒体(京大/PHTS) 松坂修二、(元住友化学) 遠藤慎行
11月24日(火) 乾燥(静岡大院工) 立元雄治、(月島機械) 諏訪 聡
12月1日(火) 流動・伝熱(阪公立大院工) 堀江孝史、(古川技研/元カネカ) 古川龍二
12月7日(月) 攪拌・混合(神戸大院工) 菰田悦之、(元ダイセル) 亀井 登
12月17日(木) プロセス制御(京大院情報) 加納 学、(住友化学) 橋爪 悟
参加費 主催・協賛団体個人会員：全受講68,000円、1日受講10,000円、主催・協賛団体法人会員：全受講89,000円、1日受講19,000円、会員外：全受講120,000円、1日受講25,000円(消費税、テキスト代含む)
参加申込方法 Web
申込先・問合先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6F 化学工学会関西支部 電話(06)6441-5531 E-mail: apply@kansai-scej.org <https://www.kansai-scej.org/topics/7345>

26-2 エコマテリアル研究会

—バイオマス分子変換と
エコマテリアル設計の最前線—

主催 高分子学会エコマテリアル研究会
協賛 日本化学会
会期 10月9日(金)13時～16時45分
開催方式 対面式
会場 京都工芸繊維大学60周年記念館1階記念ホール(京都市左京区松ヶ崎正田町19) [交通] 京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅より徒歩約9分
参加申込締切 10月5日(月)
1. 芳香族分子の二量化反応を基盤としたバイオベース高分子材料の開発(京大) 野田拓海

2. ポリトリメチレンカーボネート誘導体の高分子量化による新しい分解性高分子(奈良先端科学技術) 網代広治
3. ポロロン酸による架橋を用いたポリオレフィン系材料の高機能化と再利用(広島大) 田中 亮
4. 付加価値化合物製造を目的としたリグノセルロース系バイオマスの熱分解技術(九大) 工藤真二
5. 日本の森林資源を生かす：アルキル化反応により惹起された成分分離と成分利用(京大) 上高原 浩
※要旨集はPDF配信となります。あらかじめ、ご了承下さい。
参加費 高分子学会・日本化学会企業3,300円、大学・官公庁2,200円、学生1,100円
参加申込方法 Web
申込先・問合先 104-0042 中央区入船3-10-9 新富町ビル6階 公益社団法人高分子学会 電話(03)5540-3770 FAX(03)5540-3737 E-mail: resg2@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/>

光化学講座シリーズ2026 基礎講座

主催 光化学協会
協賛 日本化学会
会期 10月15日(木)10時～16日(金)17時40分
開催方式 オンライン
参加申込締切 10月1日(木)ただし定員(200名)になり次第
大学で光化学を初めて学ぶ学生や、企業等で光化学に関する業務に初めて携わる社会人など対象として開催する基本的な講座です。テキスト(井上、高木、佐々木、朴著、光化学I、丸善)を使用し、2日で全章を修了します。テキスト代は含まれておりませんので各自でご購入下さい。より多くの方にオンラインで受講していただけるように、昨年受講料の改定を行いました。一般・官公庁・大学の方の受講料を大幅に引き下げました。学生がより受講しやすいように、学生会員・学生非会員の受講料は同額にいたしました。また、光化学基礎講座を受講した方は、光化学協会が主催する『光化学応用講座』、『賛助会員共同セミナー』を無料で受講することが可能です。詳しくは光化学協会のHPをご覧ください。1章 光とは何か?・2章 分子の電子状態・3章 電子励起状態・4章 分子と光の相互作用・5章 光化学における時間スケール・6章 分子に光をあてると何が起るか・7章 光化学の観測と解析・8章 どのように光をあてるか・9章 光化学の素過程・10章 光化学反応の特徴・光化学の応用・修了試験・修了試験解答・特別講演・閉会式
講師 池田 浩(阪公大院工)、藤塚 守(阪大産研)、宮坂 博(阪大R3セ)、森 直(阪大環境安全研究管理セ)、小嶋誠也(阪公大院工)
特別講演 平野 誉(電通大)
Webにて申込受付後、振込先をお知らせいたしますので、参加費を郵便振替にてお振り込み下さい。なお、当日欠席されても参加費は返金できません(代理出席は可)。
参加費 学生(会員・非会員)3,000円、光化学協会会員3,000円、日本化学会会員

3,000円、協賛学協会会員3,000円、非会員5,000円
参加申込方法 Web
申込先・問合先 光化学協会 E-mail: jpakouza2026@photochem.jp <https://photochemistry.jp/kouza/2026/kiso/>

セミナー 「炭素循環型バイオ燃料の 未来展望」

主催 化学工学会関西支部
協賛 日本化学会近畿支部
会期 10月16日(金)13時～18時
開催方式 オンライン・対面併催
会場 大阪科学技術センター7階701号室(大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約7分 靱公園北詰
参加申込締切 10月9日(金)ただし定員(対面50名、オンライン90名)になり次第
1. 我が国初となる国産 SAF 製造事業に見る脱炭素社会の展望(日揮ホールディングス) 西村勇毅
2. ちとせグループが進める微細藻類を利用した産業のバイオ化(ちとせ研) 吉村 淳
3. 未利用バイオマス由来のバイオ燃料の低エネルギー製造技術とその利用展開(阪公大院工) 小川泰一郎
4. Nature Positive で自国増産可能なバイオマスの活用とそのカーボンニュートラル戦略への挑戦(京大成長戦略本部) 植田充美
5. 王子ホールディングスの木質バイオマスとその活用戦略(王子ホールディングス) 奥谷岳人
参加費 主催・日本化学会個人正会員19,000円、主催・日本化学会法人会員23,000円、大学・公設機関7,000円、学生会員3,000円、会員外学生5,000円、会員外37,000円(テキスト代・消費税込、オンラインも同額)
懇親会 17時～18時、大阪科学技術センター701号室にて。会費無料
参加申込方法 Web
申込先・問合先 550-0004 大阪市西区靱本町 公益社団法人化学工学会関西支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: apply@kansai-scej.org <https://www.kansai-scej.org/topics/7410>

第424回液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—我が社の自慢—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会
後援 日本化学会
会期 10月19日(月)13時～17時
開催方式 対面式
会場 北とぴあ・902会議室(北区王子1-11-1) [交通] JR 京浜東北線「王子」駅北口より徒歩2分
参加申込締切 10月9日(金)入金締切時刻：15時まで
これまでの例会では、分析種、分析操作、測定方法などに焦点を絞って開催してきましたが、今回は LC 研究懇談会の中核をなす企

業の LC 懇役員から自慢の製品、技術、社などについて存分にアピールしていただきます。

講演

- 講演主題概説（オーガナイザー）（東理大）中村 洋（LC マイスター、LC/MS マイスター）
- LC 溶媒および LC-MS 溶媒に関する弊社の強み（関東化学）岩田崇志（LC 分析士初段受験申込済）
- カラム事業継承の役割（北浜製作所）井上剛史（LC 分析士四段）
- 多様なクロマトグラフィー製品を生み出すためのシリカゲル合成と表面処理技（ジエールサイエンス）太田茂徳（LC 分析士二段）
- 分光技術と超臨界流体技術が拓く新たな分析の可能性（日本分光）佐藤泰世（LC 分析士二段）
- 島津製作所の自慢あれやこれや（島津製作所）寺田英敏（LC 分析士三段、LCMS 分析士初段）
- 総括：我が社の自慢（東理大）中村 洋（LC マイスター、LC/MS マイスター）

参加費 学生 1,000 円、後援学会・個人会員 4,000 円、後援学会・団体会員 4,500 円、その他 5,000 円

情報交換会 講演終了後、講師を交えて情報交換会を開催します。会費 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先（公社）日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: nakamura@jsac.or.jp <https://forms.gle/dkWW3KekFsYu9C3t7>

ナノ材料の総合分析講習

主催 近畿化学協会触媒・表面部会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 10 月 26 日（月）9 時 30 分～27 日（火）17 時 40 分

開催方式 対面式

会場 大阪公立大学杉本キャンパス学術情報総合センター 1 階 文化交流室（大阪市住吉区杉本 3-3-138）〔交通〕JR 阪和線「杉本町」（大阪市立大学前）駅下車東口より徒歩または、地下鉄（Osaka Metro）御堂筋線「あびこ」駅下車 4 号出口より南西へ徒歩約 15 分

参加申込締切 10 月 5 日（月）

第 1 日目 10 月 26 日（月）

- 開会挨拶（阪公大 ReCAP）天尾 豊
- 表面分析概論（大工大）天尾 豊
- 質量分析・クロマトグラフ（MS・GC・LC）（京大院工）井口翔之
- 光電子分光法（XPS、UPS）（京工繊大材料化学）富田 修
- X 線回折（XRD）（京大院人環）高見大地
- 電気化学測定（京大）東 正信
- 赤外・ラマンスペクトル（FT-IR、Raman）（阪公大院工）竹内雅人
- 昇温法（TG・DTA・TPD、TPR）（阪大院工）森 浩亮

第 2 日目 10 月 27 日（火）

- X 線吸収微細構造（XAFS）（近大理工）山本 旭
- 紫外可視・光ルミネセンス（UV-vis、PL）（京大院工）浪花晋平

- 核磁気共鳴（NMR）（神戸大院工）山口 渉
- 顕微鏡（TEM・SEM・STM・AFM）（阪大院工）古川森也
- 組成分析（AAS、ICP-AES、XRF）（関西大環境都市工）福 康二郎
- 吸着法（近大理工）室山広樹
- 電子スピン共鳴（ESR）（阪公大院工）松岡雅也
- 総論・ケーススタディー（京大院人環）吉田寿雄
- 閉会挨拶（阪公大 ReCAP）天尾 豊

参加費 協賛団体会員 33,000 円、一般 43,000 円、学生 11,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 近畿化学協会触媒・表面部会 電話（06）6441-5531 FAX（06）6443-6685 E-mail: catal@kinka.or.jp <https://kinka.or.jp/catalytic/>

日本化学会中国四国支部 香川地区化学講演会

主催 日本化学会

会期 11 月 19 日（木）14 時～17 時 25 分

開催方式 対面式

会場 産業技術総合研究所四国センター（高松市林町 2217-14）〔交通〕JR「高松」駅からの交通：〈バス利用〉ことでんバス（8 番のりば）に乗り、「サンメッセ香川」下車。〈鉄道経由バス移動〉ことでん琴平線「高松築港」駅から「伏石」駅下車、ことでんバス（2 番のりば）に乗り換え、「サンメッセ香川」下車

参加申込締切 11 月 12 日（木）12 時

- 開会の挨拶
- 熱安定な光スイッチの応用開拓（広島大）今任景一
- 機能性有機ヒ素化学の開拓（京工繊大）井本裕顕
- 革新的な有機エネルギー材料の創製（東北大）岡 弘樹
- 「きれいに」植物芳香族系高分子リグニンを機能素材化する新技術（産総研）敷中一洋
- 閉会の挨拶

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 761-0396 高松市林町 2217-20 原 光生 電話（087）864-2393 E-mail: hara.mitsuo@kagawa-u.ac.jp <https://forms.gle/dh1LbiQ8LKl2DfQw5>

第 62 回熱測定討論会

主催 日本熱測定学会

後援 日本化学会

会期 11 月 21 日（土）～23 日（月）

開催方式 対面式

会場 東京科学大学大岡山キャンパス（目黒区大岡山 2-12-1）〔交通〕東急大井町線、目黒線「大岡山」駅

参加申込締切 事前参加申込開始：8 月 3 日（月）参加登録締切：10 月 23 日（金）講演申込、参加申込は下記 HP からお願いします。

一般講演、特別講演、受賞講演、ジョイントシンポジウム等

※詳細は下記の熱測定討論会 HP をご参照下

さい。

参加費（要旨集代を含む。〔 〕は予約締切後の料金）日本熱測定学会、共催・後援・協賛学協会会員 10,000 円〔12,000 円〕、日本化学会会員 10,000 円〔12,000 円〕、日本熱測定学会、共催・後援・協賛学協会学生会員 3,000 円〔4,000 円〕、日本化学会学生会員 3,000 円〔4,000 円〕、非会員：一般 15,000 円〔18,000 円〕、学生 4,000 円〔5,000 円〕

懇親会 11 月 22 日（日）、詳細は下記 HP 参照。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 103-0014 中央区日本橋蛸殻町 2-15-9 須磨マンション 901 日本熱測定学会 事務局 土信田裕子 電話（03）6310-6831 FAX（03）6759-3981 E-mail: netsu@mbd.nifty.com <https://www.netsu.org/62touron/index.html>

第 67 回電池討論会

主催 公益社団法人電気化学会 電池技術委員会

協賛 日本化学会

会期 11 月 24 日（火）～26 日（木）

開催方式 対面式

会場 パシフィコ横浜ノース（横浜市西区みなとみらい 1-1-2）〔交通〕「みなとみらい」駅から徒歩 5 分、「桜木町」駅から徒歩 12 分

参加申込締切 講演申込締切：8 月 7 日（金）、早期参加登録締切：9 月 25 日（金）、通常参加登録締切：10 月 16 日（金）、直前参加登録締切：11 月 20 日（金）（クレジット決済のみ）

参加費 早期登録：主催・協賛団体会員 12,000 円、日本化学会会員 12,000 円、非会員 18,000 円、学生 5,000 円、通常登録：主催・協賛団体会員 14,000 円、日本化学会会員 14,000 円、非会員 20,000 円、学生 7,000 円、直前登録（クレジットのみ）：主催・協賛団体会員 15,000 円、日本化学会会員 15,000 円、非会員 22,000 円、学生 8,000 円

懇親会 11 月 25 日（水）夕刻、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて。懇親会費 10,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 第 67 回電池討論会事務局 <https://www.67denchi.com>

連合年会 2026（第 39 回 日本イオン交換研究発表会・ 第 45 回溶媒抽出討論会）

主催 日本溶媒抽出学会 日本イオン交換学会

協賛 日本化学会

会期 11 月 26 日（木）～27 日（金）

開催方式 対面式

会場 千葉大学けやき会館（千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学西千葉キャンパス構内）〔交通〕JR 総武線「西千葉」駅（北口）より徒歩 7 分

参加申込締切 10 月 9 日（金）17 時

講演申込締切 9 月 25 日（金）17 時

発表形式 口頭発表（発表 12 分、質疑応答 3 分を予定）またはポスター発表（90 分を予定）

講演要旨締切 10月23日(金)17時

参加費 [予約]主催学会員・日本化学会・他協賛学会員7,000円、学生2,000円、非会員8,000円、[当日]主催学会員・日本化学会・他協賛学会員8,000円、学生3,000円、非会員9,000円

懇親会 11月26日(木)PIER-01 (<https://ksnetwork.co.jp/pier/>)にて。会費:[予約]一般7,000円、学生4,000円、[当日]一般9,000円、学生5,000円

参加申込方法 Web

申込先 日本イオン交換学会HP (<http://www.jaie.gr.jp/>)のトップページ「研究発表会」からお申し込み下さい。

問合先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院理学研究院 連合年会2026実行委員長 勝田正一 電話(043)290-2781 E-mail: symposium@solventextraction.gr.jp <http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/>

LC- & LC/MS-DAYS 2026

—基礎から問題解決まで—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 日本化学会

会期 12月3日(木)13時~4日(金)16時45分

開催方式 対面式

会場 名古屋国際センター(名古屋市中村区那古野1-7-1)[交通]JR「名古屋」下車徒歩7分

参加申込締切 11月19日(木)入金締切時刻15時

LC研究懇談会ではHPLC、LC/MSならびに関連技術に関する専門家の養成を目指し、参加者の基礎知識習得と現場で遭遇する様々な問題を解決できる能力の育成を目指し、「基礎から問題解決まで」を2026年のメインテーマに掲げました。この研修会では、技術者・研究者・メーカー・ユーザーが一体とな

り、基礎から最前線までを一緒に考えます。また、本研修会は分離科学的な専門知識の効率的な習得に加え、ヒューマンネットワーク構築の場としても貴重な2日間となります。なお、本研修会終了後の、(1)2026年度LC分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験、(2)2026年度LC/MS分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験((1)(2)は同時刻実施、無料)に合格されますと、当該分析士初段認証試験の筆記試験が免除される特典が有ります(初段登録時には正規の受験料6,600円と登録料3,300円が必要です)。研修内容詳細は下記のLC研究懇談会のHPをご覧ください。

参加費 20,000円(税込10%)。情報交換会代(初日)、昼食代(2日目)、コーヒー/ティーブレイク代(3回)、講演要旨集代が含まれます。

情報交換会 12月3日(木)18時~20時、神戸館名駅にて。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会 E-mail: nakamura@jsac.or.jp <https://www.lickon.org/lcdays/lc-lcmsdays2026.html>

第5回

LC シニアクラブ参加者募集

主催 LCシニアクラブ

後援 日本化学会

会期 12月4日(金)18時~5日(土)14時

開催方式 対面式

会場 名古屋国際センター(NIC)第5会議室(名古屋市中村区那古野1-47-1)[交通]JR「名古屋」駅下車徒歩7分

参加申込締切 11月20日(金)入金締切時刻15時

LCシニアクラブ(LCSCL)は、(公社)日本分析化学会・LC研究懇談会のシニア役員を中核とし、LCやLC/MSをはじめ、様々な技術や手法の開発・改良、技術を継承する人

財の発掘・育成・組織化などの戦略を自由な発想に基づいて俯瞰的な立場から提案する為の頭脳集団です。今回も昨年に続き、LC研究懇談会が主催するLC- & LC/MS-DAYS 2026にリンクし、その終了直後から第5回会合を開きます。参加資格は特にはありません。

総合司会:井上剛史

12月4日(金)

第1部 情報交換会

1. 挨拶:LCシニアクラブ会長・中村 洋(東理大名誉)

2. 自己紹介と歓談:全参加者

12月5日(土)

第2部 2026年度総会(名古屋国際センター)

1) 報告事項(事業報告、新規入会者、等)

2) 承認事項(事業計画案、定款改定、次期役員と分担、等)

第3部 講演・話題提供(名古屋国際センター)

座長:三上博久

講演1.フリーウェアを利用したピーク拡散のシミュレーション(LCシニアクラブ)熊谷浩樹

座長:竹澤正明

講演2. PFAS分析の最近の動向(仮題)(栗田工業)根本幹司

第4部 アルコール・ランチ放談会「LC研究懇談会、分析士会、人材育成、ヒューマンネットワーク、新規事業、新技術開発など」(名古屋駅近隣レストラン)

参加費 11,000円(税込10%)。宿泊費、朝食代は含みません。

情報交換会 12月4日(金)18時~20時、四川菜園名駅にて。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会 E-mail: nakamura@jsac.or.jp <https://www.lickon.org/event/LCSCL/>